

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 162 号

令 和 3 年 12 月 28 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521番地1  
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和3年6月28日付け指令地第525号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（松笠地区防災備品収納庫整備）事業	雲南市	503,800	503,800	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金(松笠地区防災備品収納庫整備)事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市					
交付金事業実施場所		雲南市掛合町松笠					
交付金事業の概要		<p>地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市掛合町の松笠交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する住民の自助の意識の醸成を図ってきました。</p> <p>これまでに整備してきた防災備品は、現在、松笠交流センターの倉庫や押し入れに保管しています。今後、さらに防災備品の整備・拡充を検討していますが収納場所が不足しています。あらたに防災備品専用の保管倉庫を設置することによって、適切な管理と災害時の迅速な対応が可能となります。</p> <p>このような地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲以内で補助金を交付します。</p> <p>具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○松笠地区防災備品収納庫整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型物置 1基</li> <li>・棚板 4枚×2段</li> </ul> </li> </ul>					
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安心・安全で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p>防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 28.7%（令和元年度実績）</p> <p>目標 34.0%（令和3年度）</p>					
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度	
事業期間の設定理由							
		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度	
		災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%		
				目標値	%	34	
				達成度	%		

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	
	松笠地区（松笠交流センター）への 防災備品整備数	活動実績	点	2	
		活動見込	点	2	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和3年度			備考	
総事業費	503,800				
交付金充当額	503,800				
うち文部科学省分	0				
うち経済産業省分	503,800				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
	補助金交付	補助	松笠振興協議会（雲南市）	503,800	
	計			503,800	
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター自治振興課				
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター自治振興課				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とその目を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。  
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第207号

令和4年3月11日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1

氏名 雲南市長 石飛厚志

令和3年11月30日付け指令地第1148号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	814,000	814,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市					
交付金事業実施場所		雲南市木次町西日登 外20か所					
交付金事業の概要		雲南市民バスは、現在30路線、161便/1日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所に設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。しかし、経年劣化による老朽化により、朽ち果てている箇所や倒壊等設置箇所の安全確保が問題となります。このことから、老朽化したバス停留所標識柱について21基の更新を実施します。					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）（後期基本計画 令和2年度～令和6年度） 政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策：13公共交通ネットワークの充実 ・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。 ・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。 施策目標 市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 現状 51.7%（令和2年度） 目標 57.0%（令和3年度）					
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度	
		市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 57.0%	市民アンケートにおいて「市民の公共交通サービスに満足している」項目に満足、多少満足と答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%		
			目標値	%	57.0		
			達成度	%			
		評価年度の設定理由					
		本市は毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	市民バス標識柱の更新数		活動実績	基	16	40	21
			活動見込	基	16	40	21
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費		649,000	1,540,000	814,000			
交付金充当額		649,000	1,540,000	814,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		649,000	1,540,000	814,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
バス停留所の標識の製作及び設置		一般競争入札		有限会社サンユウ工芸(雲南市)		814,000	
計						814,000	
交付金事業の担当課室	雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課						
交付金事業の評価課室	雲南市役所 政策企画部 地域振興課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8(第11条関係)

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 1 5 4 号  
令 和 3 年 1 2 月 2 2 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1  
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和3年6月28日付け指令地第524号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営 等措置	自治会施設等整備補助金(温泉交 流センター防災備品整備)事業	雲南市	980,672	980,672	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金(温泉交流センター防災備品整備)事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市木次町平田		
交付金事業の概要		<p>雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。</p> <p>この雲南市木次町温泉地区の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、温泉交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する地区住民の自助の意識の醸成を図ります。</p> <p>また、これまでに全国各地で発生した集中豪雨等の実態を踏まえ避難所での生活を送る事態を想定し、避難所生活において避難者が怪我をしないような安全対策や整備した防災備品を用いた自主防災訓練を行うことができるようになり「避難所生活での安全確保や住民の更なる防災意識の高揚」を目指します。</p> <p>このような地域自主組織での主体的な避難所運営、自主防災活動などの地域に即した防災備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。</p> <p>温泉交流センターに整備する防災備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LEDバルーン1台</li> <li>・防災用LED作業灯セット1台</li> <li>・発電機2台(ガソリン式)</li> <li>・発電機用並列運転コード1個</li> <li>・コードリール2台</li> <li>・ガソリン携行缶(100)1個</li> <li>・ガソリン携行缶(200)1個</li> <li>・災害備蓄マット8枚</li> </ul>		
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画(後期基本計画 2015-2024)】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p>防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>施策目標:災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 28.7%(令和元年度実績)</p> <p>目標 34.0%(令和3年度)</p>		
事業開始年度		令和3年度	事業終了(予定)年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度	
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%		34.0	
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	温泉地区地域自主組織への防災備品整備数		活動実績	点	17		
			活動見込	点	17		
			達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備考		
総事業費	980,672						
交付金充当額	980,672						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	980,672						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	補助金交付	補助	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」(雲南市)	980,672			
	計				980,672		
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とその目を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。  
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。  
事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 179 号

令 和 4 年 1 月 25 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521番地1

氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和3年6月28日付け指令地第527号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	防災用音響備品整備事業	雲南市	544,500	544,500	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	防災用音響備品整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市				
交付金事業実施場所		雲南市掛合町掛合				
交付金事業の概要		<p>雲南市掛合町は山あい集落が散在し、その周りを急傾斜地(土砂災害警戒区域)に指定されている区域が多く、降水量や積雪量が多くなると土砂崩れ等の災害発生が心配されます。特に土砂崩れが発生すると、家屋の倒壊だけでなく生活道路が分断され、孤立してしまう世帯や集落が発生する可能性も大いにあります。そのような中で住民の防災への意識は高く、自主防災組織の結成や防災・想定訓練を積極的に取り組んでおられます。そこで交付金を活用し、災害対策の拠点となり現場の情報が集まる雲南市掛合総合センターに災害時の適切な情報提供を図るため、可搬式、電池・プラグ併用式の音響備品を購入します。更に、平常時において防災訓練に活用し、市民の防災意識の向上を図ります。雲南市掛合総合センターに整備する防災用音響備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータブルワイヤレスアンプ 2台</li> <li>・ワイヤレスマイク 5台</li> <li>・ダイバーシティ チューナーユニット 3台</li> <li>・ダイナミックマイク 1台</li> </ul>				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】            政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》            施策16 消防・防災対策の推進            防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合            現状 28.7%（令和元年度実績）            目標 34.0%（令和3年度）</p>				
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度 令和3年度		
事業期間の設定理由						
		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和4年度	
		災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%	
				目標値	%	34
				達成度	%	

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	掛合総合センターへの防災備品整備数	活動実績	点	255	4	11
		活動見込	点	255	4	11
		達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	3,905,000	1,133,000	544,500			
交付金充当額	3,905,000	1,133,000	544,500			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	3,905,000	1,133,000	544,500			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	掛合総合センターへの防災用音響備品の整備	指名競争入札	土江文具店（雲南市）	544,500		
	計			544,500		
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター自治振興課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とその目を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。  
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第211号

令和4年3月15日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521番地1

氏名 雲南市長 石飛厚志

令和3年11月30日付け指令地第1147号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（掛合町交流センター（掛合・多根・松笠・波多・入間）防災備品整備）事業	雲南市	1,179,860	1,179,860	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金(掛合町交流センター(掛合・多根・松笠・波多・入間)防災備品整備)事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		雲南市掛合町掛合地内(他4件)	
交付金事業の概要		<p>地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市掛合町の各交流センターは、これまで各地域自主組織で防災備品を整備することにより、災害時の住民避難に対して備えてきました。                  しかし、コロナ禍において、避難所における感染防止対策も併せて必要になりました。                  そのような中で、令和3年7月から8月の大雨災害により、掛合町内すべての交流センターで避難者を受け入れる中、新型コロナウイルス感染症対策における対策備品の不足や、インフラ寸断時の対策など多くの課題を残すことになりました。                  このたびの災害での課題の解決として、各交流センターにベッド類や間仕切り等の新型コロナウイルス感染症対策等の備品を整備するとともに、避難所の設置訓練など地域の防災活動にも活かしていきます。                  このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。                  具体的な内容は以下のとおりです。</p> <p>○自治会施設等整備補助金(掛合町交流センター(掛合・多根・松笠・波多・入間)防災備品整備)事業                  【掛合】簡易間仕切18張、クッションシート36枚                  【多根】ダンボールベッド1床、簡易ベッド12床、簡易間仕切2張、クッションシート4枚、ポータブルソーラーパネル1台                  【松笠】ダンボールベッド9床、簡易ベッド3床、簡易間仕切9張、クッションシート18枚                  【波多】ダンボールベッド9床、簡易ベッド3床、簡易間仕切9張、クッションシート18枚                  【入間】簡易間仕切2張、衝立2枚、案内板2枚                  計 158点</p>	
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】                  政策Ⅱ 安心・安全で快適なまち《定住環境》                  施策16 消防・防災対策の推進                  防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合                  現状 31.2%（令和2年度実績）                  目標 34.0%（令和3年度）</p>	
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度 令和3年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度	
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合(34.0%)	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%		34	
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	掛合町各交流センター（掛合・多根・松笠・波多・入間）への防災備品整備数	活動実績		点	158		
		活動見込		点	158		
		達成度		%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備考		
総事業費	1,179,860						
交付金充当額	1,179,860						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	1,179,860						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
	補助金交付	補助	掛合町地域自主組織連絡会議（雲南市）		1,179,860		
	計				1,179,860		
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター自治振興課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とその目を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。  
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該 機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 180 号

令 和 4 年 1 月 25 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1

氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和3年6月28日付け指令地第520号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業	雲南市	1,947,000	1,947,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所		雲南市吉田町吉田ほか2件
交付金事業の概要	<p>地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市吉田町内の交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助の意識の醸成を図ります。</p> <p>雲南市吉田町内の各交流センターの防災備品は、平成29年度から、本交付金を活用し、計画的に整備することとしており、最終的には、地区単位で、行政及び地域所有の防災備品や災害用備蓄品、並びに個人の持ち出し備蓄品を合わせて、1週間程度自活できる体制を目指します。</p> <p>今年度も地震等大規模な災害の発生により、長期間に渡り避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品を各地域の状況に即して、またこれまで整備した備品を利用した訓練の実態を踏まえて追加整備します。</p> <p>このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。</p> <p>各交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <p><u>吉田交流センター（吉田地区振興協議会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導用ベスト 30枚</li> <li>・合図灯 10本</li> <li>・防災用ハロゲンライトセット 2台</li> <li>・防災イベントストーブ 1台</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 43点</p> <p><u>田井交流センター（田井地区振興協議会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンタッチテント 2張</li> <li>・クイックパーテーション 4台</li> <li>・屋外用コードリール 1台</li> <li>・軽量樹脂製運搬車 2台</li> <li>・38cm大型扇風機 2台</li> <li>・防災用ヘルメット 5個</li> <li>・インバーター発電機（ガソリン式） 2台</li> <li>・45cm三脚収納工場扇 1台</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 19点</p> <p><u>民谷交流センター（民谷地区振興協議会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所用蓄電池 1台</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 1点</p>	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標</p>	<p>令和3年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】          政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち          施策16 消防・防災対策の推進              防災意識の向上と実践、防災施設の整備          各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合          現状 28.7%（現状値：令和元年度）          目標 34.0%（令和3年度）</p>				
<p>事業開始年度</p>	<p>令和3年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和3年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p> <p>災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%</p>	<p>成果指標</p> <p>市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数</p>	<p>成果実績</p> <p>目標値</p> <p>達成度</p>	<p>単位</p> <p>%</p> <p>%</p> <p>%</p>	<p>評価年度</p> <p>令和4年度</p> <p>34</p>
<p>評価年度の設定理由</p>					
<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。</p>					
<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>—</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>					
<p>無</p>					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	吉田町地域自主組織への防災備品整備数	活動実績	点	96	146	209
		活動見込	点	96	146	209
		達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考	
総事業費		2,926,281	2,977,590	1,947,000		
交付金充当額		2,926,281	2,977,590	1,947,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		2,926,281	2,977,590	1,947,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
補助金交付		補助		吉田地区振興協議会（雲南市）		584,540
補助金交付		補助		田井地区振興協議会（雲南市）		590,260
補助金交付		補助		民谷地区振興協議会（雲南市）		772,200
		計				1,947,000
交付金事業の担当課室		吉田総合センター自治振興課				
交付金事業の評価課室		吉田総合センター自治振興課				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。  
(4) 交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。  
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。  
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。  
(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該

機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第161号

令和3年12月27日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1

氏名 雲南市長 石飛厚志

令和3年6月28日付け指令地第528号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三刀屋交流センター横公園遊具整備工事	雲南市	869,000	869,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三刀屋交流センター横公園遊具整備工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町三刀屋		
交付金事業の概要		<p>三刀屋交流センター横公園は、三刀屋交流センター建設に伴い整備された施設です。この公園は利便がよく、午前中はほぼ毎日就学前の子ども連れや、三刀屋保育所の子ども達が訪れ、また、年間を通じて小学生や、中学生の利用も多く、地域住民の憩いの公園として中心的な役割を果たしています。</p> <p>公園の利用者からの要望が多くあり、今回整備予定の遊具は、子どもが座って遊べるものと立って遊べるもので、対象年齢に応じたタイプの異なる2種類です。</p> <p>経年劣化した既存の遊具を別事業で撤去を行い、設置する遊具を子ども達が安全に利用できる空間を確保したうえで、新規に遊具を設置します。</p> <p>三刀屋交流センター横の公園に整備する具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリング遊具設置2基（ニョッキー1基、ハニー1基）</li> </ul>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>第2次雲南市総合計画（後期基本計画 平成27年度～令和6年度）</p> <p>政策: II安全・安心で快適なまち 《定住環境》</p> <p>施策: 09都市・住まいづくりと土地利用の推進</p> <p>方針: 居住環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園、農村公園等を計画的に整備し、適正に管理します。</li> </ul>		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度	
	住んでいる地域が 便利で住みよいと 感じる市民の割合	市民アンケートにおいて 「住んでいる地域が便利 で住みよいとを感じる市民 の割合（三刀屋地域）」 についての項目に、感じる、 やや感じると答えた 数/市民アンケート回答 者数	成果実績	%			
			目標値	%	70.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDC Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
なし							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	年度	年度
	三刀屋交流センター横公園遊具の整備数		活動実績	基	2		
			活動見込	基	2		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度	年度	年度	備考			
総事業費	869,000						
交付金充当額	869,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	869,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
公園遊具の設置工事		指名競争入札		梅木建設（株）（雲南市）		869,000	
計							
交付金事業の担当課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課						

- 
- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
  - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
  - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
  - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
  - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
  - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
  - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
  - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
  - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
  - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
  - (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第209号

令和4年3月14日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521番地1

氏名 雲南市長 石飛厚志

令和3年6月28日付け指令地第526号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（志食自治会防火水槽補水用水道管延伸整備）事業	雲南市	539,000	539,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金(志食自治会防火水槽補水用水道管延伸整備)事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市					
交付金事業実施場所		雲南市掛合町多根					
交付金事業の概要		<p>志食自治会は、山あい各戸が散在し、自治会内でも各戸標高差があります。自治会内でも標高の高い地域は水量が乏しく、水利条件が悪い地域となっています。現在防火水槽への補水は湧き水により行っており、この補水用の管は経年劣化による破損及び水路閉塞等により、地域住民による水位管理及び防火水槽の維持管理が困難となっています。</p> <p>以上のことから、交付金を活用し、防火水槽への確実な補水を行えるよう水道管を延伸することで、防火用水の機能維持を確保し、防火水槽の維持管理を適切に行い、火災時の初期消火に備え、地元消防団の効率的な活動と環境整備をすすめ、安心・安全な防災体制の強化を図るものです。</p> <p>ついで、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を志食自治会に交付します。具体的な事業内容は防火用水付近の水道管を延伸(φ20mm L=9.1m)します。</p>					
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p>防災意識の向上と実践、防火施設と消防体制の充実</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 28.7%（令和元年度実績）</p> <p>目標 34.0%（令和3年度）</p>					
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度	
事業期間の設定理由							
		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度
		災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%		
				目標値	%		34
				達成度	%		

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	
	防火水槽補水管整備箇所数	活動実績	点	1	
		活動見込	点	1	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和3年度			備考	
総事業費	539,000				
交付金充当額	539,000				
うち文部科学省分	0				
うち経済産業省分	539,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
	補助金交付	補助	志食自治会（雲南市）	539,000	
	計			539,000	
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター自治振興課				
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター自治振興課				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とその目を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。  
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和3年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第160号

令和3年12月27日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1  
氏名 雲南市長 石飛厚志

令和3年6月28日付け指令地第521号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表 (令和3年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金(西日登交流センター防災備品整備)事業	雲南市	1,000,000	1,000,000	総事業費 1,009,063円

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（西日登交流センター防災備品整備）事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市						
交付金事業実施場所		雲南市木次町西日登						
交付金事業の概要		<p>雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。</p> <p>この雲南市木次町西日登地区の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、西日登交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する地区住民の自助の意識の醸成を図ります。</p> <p>また、これまでに全国各地で発生した集中豪雨等の実態を踏まえ避難所での生活を送る事態を想定し、避難所生活において避難者が怪我をしないような安全対策や整備した防災備品を用いた自主防災訓練を行うことができるようになり「避難所生活での安全確保や住民の更なる防災意識の高揚」を目指します。</p> <p>このような地域自主組織での主体的な避難所運営、自主防災活動などの地域に即した防災備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。</p> <p>西日登交流センターに整備する防災備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用LED作業灯セット 3台</li> <li>・発電機（ガソリン式）EU9i 1台</li> <li>・発電機（ガソリン式）EU26i 1台</li> <li>・コードリール（屋外型）3台</li> <li>・ワンタッチテント1台</li> <li>・加重プレート 4個</li> <li>・クイックシェード（テント）1張</li> </ul>						
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策II 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>現状</td> <td>28.7%（令和元年度実績）</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>34.0%（令和3年度）</td> </tr> </table>			現状	28.7%（令和元年度実績）	目標	34.0%（令和3年度）
現状	28.7%（令和元年度実績）							
目標	34.0%（令和3年度）							
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度				
事業期間の設定理由								

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度	
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%		34.0	
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のP D C Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	西日登地区地域自主組織への防災備品整備数	活動実績		点	14		
		活動見込		点	14		
		達成度		%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備考		
総事業費	1,000,000						
交付金充当額	1,000,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	1,000,000						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	補助金交付	補助	西日登振興会（雲南市）	1,000,000			
	計				1,000,000		
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課						

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
  - (4) 交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策を記載すること。
  - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
  - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、成果及び評価を記載すること。
  - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
  - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価について報告を行うこと。
  - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載。成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
  - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称等を記載すること。
  - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
  - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
  - (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。